



# お祭りの日をより楽しむ 新設!道標&高札MAP

今年4月、新たに道標が18カ所、高札が12カ所に設置されました。杉戸宿の道案内をつとめる道標には、「杉戸宿 開宿 400年」のロゴが加えられています。町のさまざまな場所にあるので、お祭りがてら、まち歩きを楽しむとしてぜひ見つけてみてください。

**新・道標**



**新・高札**



各所の情報を載せた  
英語の掲示版



迷ったらの  
案内板を確認!



杉戸宿全体を案内してくれる木製の案内板は、3カ所に設置。



MAP 1 ... 杉戸夏まつり開催エリア  
MAP 2 ... 古利根川流灯まつり開催エリア



◆ 杉戸宿全体を案内してくれる木製の案内板は、3カ所に設置。

- ... 新・道標
- ... 新・高札
- ... 旧・道標
- ... 神社
- ... 寺
- ... 総合案内板



◆ 道標制作 (有)石塚石材店 石塚 幹正 さん  
◆ 道標・高札設置 (株)イー・エス・ピー 中川 定雄 さん

道標の重量は1つ約200キロ。正面の文字は手作業で彫られている。杉戸宿開宿400年を記念して、今回石塚さんは新たに道標を制作。中川さんが高札と合わせて計30カ所に設置した。お二人はそれらをわずか1カ月半で行った凄腕だ。

マップイラスト/にしほりみほこ



彫刻家  
おきな ゆずる  
翁 譲 さん

1947年生まれ。宮城県仙台市出身。東京で制作活動が続いていたが、自宅兼アトリエとして気に入った物件があり2008年より杉戸へ。古利根川を杉戸と宮代の間を流れる「天の川」に見立てた七夕祭り「天の川プロジェクト」の発起人でもある。

◆七夕の飾り付けの様子  
今年8月5、6、7日で開催

「個人が楽しめる」とは言いたくありません。町との関わりもあります。毎年、さまざまな場面で町役場の方々に協力していただいて、本当に助かっています。こうやって町と一緒に取り組めば、素敵なことは2倍楽しくなるんですね。

お祭りって、本来楽しいものですよ。だから、七夕を復活させるにあたり、僕らは「個人が楽しめるお祭りにしよう」と決めました。無理しない。義務化しない。飾りつけも自由です。そうして始めた七夕が、今年で7年目を迎えます。町の人も楽しんでくれていて、その様子を見ているとうれしくなります。

そんなときに、近所の飲み屋で「うちに昔の町の写真あるわよ」と女将が言い、娘さんが奥からアルバムを見せてくれたらね、ぱっと目を引いたんですよ。七夕の写真が。子どもたちが楽しそうにしているね、今の町とは雰囲気違うわけです。僕は仙台出身なので、七夕には思い入れがあります。これだ、と勝手に使命感のようなものさえ湧いてきて、それから「杉戸で七夕をやりませんか」と仲間と声をかけて回りました。

彫刻家は「見る」のが仕事です。東京から杉戸に越してきて、まずは自転車に乗って町を見て回りました。歴史ある杉戸の町には素敵などころをたくさん見つけましたよ。だけど、同時に気になるところも見えてきた。例えばシャッターの閉まったお店です。やっぱり寂しいですね。お店が閉まるって、町に穴が開くようなものですから。

杉戸で七夕をもう一度  
素敵なことは、町と一緒に

Vol.3  
SUGITO BITO

# すぎとびと